



日本を代表する バドミントン選手になりたい

輝いている人

インタビュー
Interview

第32回岡山県小学生バドミントン大会でそれぞれシングルス優勝したのが、平田晟也さん（常盤小6年）と璃月さん（常盤小4年）の兄弟だ。

大会は6月、岡山市で行われた。兄弟でのダブル優勝に、「勝ててうれしかった」と口をそろえる。ライバルとの決勝戦となった兄の晟也さんは、「自分の得意なプレーができた。10点満点中10点」と笑顔で振り返る。

練習は、週3日を2人が所属する永井バドミントンクラブ（倉敷市）で、1日を清音小学校体育館で行っている。平日で2時間、休日は3時間ラケットを握る。厳しくてもやめたいと思っただことはないという晟也さん。「バドミントンが好き」とほほ笑む。璃月さんは、「怒られたときに、やめたいと思った」と本音をポロリ。

コッコッタイプの晟也さんと、やるときにはやるタイプの璃月さん。お互いのプレーや試合内容には一切干渉しないという。男同士、いいライバル関係だ。

バドミントンは3年前、2人いっしょに始めた。祖父の試合を見たことがきっかけだという。「自分もやりたいと思った」と話す。祖父母は元、父は現役の実業団の選手だ。県のトップ選手になることは、祖父母と父のDNAを受け継ぐ2人には通過点。もちろん目指しているのは全国トップに達しない。

将来の夢を「日本を代表するバドミントン選手」と語る2人。夢の実現に向け、暑い体育館での練習に耐え、心と体を鍛えぬく日々。兄弟で日の丸を背負う姿に思いをはせ、ラケットに魂を込める。

岡山県小学生バドミントン大会で兄弟ダブル優勝した

平田 晟也さん（中央六丁目）
璃月さん



保健師からの「すくすく育ってますね」の言葉にみんなが笑顔になる。赤ちゃんのからだの変化や気を付けることなどをアドバイスしたり、予防接種の情報を提供したりする



◆こんにちは赤ちゃん訪問 Q & A

Q. だれのところに訪問をするの？

A. 生後4か月までの赤ちゃんのいる全ての家庭です。

Q. だれが訪問するの？

A. 市の保健師か助産師です。

Q. 何をするの？

A. 赤ちゃんの体重、身長、計測、育児に関する相談、子育てに関する情報提供をします。また、子どもといっしょに参加できる「つどいの広場」などを紹介します。

Q. 訪問の連絡はいつ来るの？

A. 出産後、母子健康手帳についている「出生連絡票」をこども課の窓口へ提出してください。訪問日程をその場で調整するか、後日、市職員から連絡をして決めることになります。

慣れない育児に不安を感じるのは当然のこと。焦らず、ゆっくりと赤ちゃんとの生活を楽しめたらいいですね。

◆問い合わせ こども課母子保健係 ☎ 92-8261



自宅まで訪問してもらえるので安心。産後の体調や育児環境などの心配事を落ち着いて相談できます



●材料（4人分）

- キュウリ…60g ●キャベツ…180g
- コーン水煮…60g ●春雨…40g
- 調味料…砂糖＝6g、しょう油＝18g、酢＝12g、塩＝1.2g、ごま油＝1.8g

●作り方

- ①キュウリ、キャベツは千切りにし、歯ごたえを残すようにゆで、ザルにあげて水をかけてさます。
- ②春雨は湯でさっともどし、水をかけてさます。
- ③調味料はすべて混ぜ合わせる。
- ④材料をすべて混ぜ合わせ、③であえる。

その他の献立 ごはん 牛乳 マーボー豆腐 冷凍ミカン